

第 7 5 回神河町議会臨時会に提出された議案

○町長提出議案

第 1 2 9 号議案 神河町峰山高原スキー場設備整備工事請負契約締結事項の変更の件

神河町告示第160号

第75回神河町議会臨時会を次のとおり招集する。

平成28年12月20日

神河町長 山 名 宗 悟

- 1 期 日 平成28年12月21日
- 2 場 所 神河町役場 議場
- 3 付議事件

(1) 神河町峰山高原スキー場設備整備工事請負契約締結事項の変更の件

○開会日に応招した議員

藤 原 裕 和	小 寺 俊 輔
藤 原 日 順	松 山 陽 子
山 下 皓 司	三 谷 克 巳
宮 永 肇	小 林 和 男
藤 原 資 広	廣 納 良 幸
藤 森 正 晴	安 部 重 助

○応招しなかった議員

な し

平成28年 第75回（臨時）神 河 町 議 会 会 議 録（第1日）

平成28年12月21日（水曜日）

議事日程（第1号）

平成28年12月21日 午前9時開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 第129号議案 神河町峰山高原スキー場設備整備工事請負契約締結事項の変更の件
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 第129号議案 神河町峰山高原スキー場設備整備工事請負契約締結事項の変更の件
-

出席議員（12名）

1番 藤原裕和	7番 小寺俊輔
2番 藤原日順	8番 松山陽子
3番 山下皓司	9番 三谷克巳
4番 宮永肇	10番 小林和男
5番 藤原資広	11番 廣納良幸
6番 藤森正晴	12番 安部重助

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 坂田英之 係長 楨 良裕

説明のため出席した者の職氏名

町長 山名宗悟 ひと・まち・みらい課長
副町長 細岡重義 藤原登志幸
教育長 澤田博行 建設課長 真弓俊英

町参事	野 邊 忠 司	地籍課長	児 島 則 行
町参事	谷 口 勝 則	上下水道課長	中 島 康 之
総務課長	日 和 哲 朗	健康福祉課長	大 中 昌 幸
総務課参事兼財政特命参事	児 島 修 二	会計管理者兼会計課長	山 本 哲 也
情報センター所長	藤 原 秀 洋	病院事務長	藤 原 秀 明
税務課長	和 田 正 治	病院総務課長兼施設課長	藤 原 広 行
住民生活課長	吉 岡 嘉 宏	教育課長	松 田 隆 幸
住民生活課参事兼防災特命参事	田 中 晋 平	教育課参事兼地域交流センター所長	児 島 浩 一
地域振興課長	石 堂 浩 一		
地域振興課参事兼観光振興特命参事	山 下 和 久		

議長挨拶

○議長（安部 重助君） 皆さん、おはようございます。

開会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本日は第75回臨時会が招集されましたところ、全議員の方、そしてまた執行部の方におかれましては、定刻までに御参集を賜りありがとうございます。

第74回の定例会におきましてもいろいろ問題発言がございましたけれども、そのために多くの時間を費やしたり、はかり知れない心労があったと思います。そういった意味で、大変な議会ではございましたけれども、今後はそういうことのないように、一日でも早く正常な政治また議会であって、そして町民の皆様方にも信頼される議会、行政になっていきたいというふうに強く強く望みますので、これからはしっかりと頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたしまして、開会の挨拶といたします。

町長挨拶

○町長（山名 宗悟君） おはようございます。

第75回臨時会開会に当たりまして、私からも一言御挨拶申し上げます。

まずは、12月6日から20日にかけて15日間にわたり開催されました第74回神河町議会定例会におきましては、慎重審議いただきましてまことにありがとうございました。ただいまの議長の挨拶にもございましたが、74回定例会におきましては私どもの、本当に神河町議会、そして町民の皆様方に信用を失墜させるような行いで、大変な御迷惑をおかけしたわけでございます。二度とそういうことのないように、私どももしっかりと再発防止に努めてまいりたいというふうに考えているところでございます。引き続きの御指導をよろしく願いしたいと思います。

さて、昨日の定例会に引き続いて、本日は第75回神河町議会臨時会を招集させていただきましたところ、議員各位の御出席を賜り、議会が開催できますことを衷心より厚く感謝申し上げます。今臨時会におきましては、峰山高原スキー場設備整備工事請負契約変更の件、1件を提案させていただきます。

これにつきましては、峰山高原スキー場のより安定経営かつスキー場利用者の満足度アップを図るための契約案件でございます。

議員の皆様には、よろしく御審議賜り御承認いただきますようお願いを申し上げ、開会の御挨拶とさせていただきます。

午前9時03分開会

○議長（安部 重助君） それでは、ただいまから第75回神河町議会臨時会を開会いたします。

ただいまの出席議員数は12名であります。定足数に達していますので、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（安部 重助君） 日程第1は、会議録署名議員の指名であります。

会議録署名議員は会議規則第127条の規定により、議長から指名します。

7番、小寺俊輔議員、8番、松山陽子議員、以上2名を指名します。

日程第2 会期の決定

○議長（安部 重助君） 日程第2、会期の決定の件を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は本日1日間としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安部 重助君） 御異議ないものと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日1日間と決定しました。

それでは、早速議案の審議に入ります。

日程第3 第129号議案

○議長（安部 重助君） 日程第3、第129号議案、神河町峰山高原スキー場設備整備工事請負契約締結事項の変更の件を議題とします。

事務局、議案の朗読をしてください。

〔事務局朗読〕

第129号議案 神河町峰山高原スキー場設備整備工事請負契約締結事項の変更の件

○議長（安部 重助君） 上程議案に対する提出者の説明を求めます。

山名町長。

○町長（山名 宗悟君） 第129号議案の提案理由並びに内容について御説明申し上げます。

本議案は神河町峰山高原スキー場設備整備工事請負契約締結事項の変更の件でございます。平成28年9月28日締結以降に変更要件が発生したため、契約金額と当初契約4億905万円を4億1,822万6,760円に増額するもので、増額分は917万6,760円となります。変更する理由は、B・Cコースにも人工降雪機を使用可能とするため、当初予定していたポンプ能力を上げる必要が生じたことにより工事費を増額するものでございます。

詳細につきまして地域振興課観光振興特命参事から御説明いたしますので、よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（安部 重助君） 詳細説明を求めます。

地域振興課観光振興特命参事。

○地域振興課参事兼観光振興特命参事（山下 和久君） 地域振興課、山下でございます。最初に、まことに申しわけありませんが、資料の一部訂正をお願いしたいと思います。

峰山高原スキー場設備工事の、この工事概要書というのがあるかと思えます。

○議長（安部 重助君） 何ページですか。

○地域振興課参事兼観光振興特命参事（山下 和久君） 2ページ目、議案書の次のページの資料でございます。その部分の変更内容のB・C分岐配管で括弧して、何々フランジ追加という部分があるかと思えますが、用語が適正ではございませんので、「閉鎖フランジ」というふうに変更願います。（発言する者あり）B・Cの分岐管の部分のこの用語が、不適切かなというふうに思えます。なので、「閉鎖フランジ」というふうに変更をお願いしたいと思います。

○議長（安部 重助君） よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、説明を続けてください。

○地域振興課参事兼観光振興特命参事（山下 和久君） それでは、お手元に提案理由についてという資料が配付されていると思います。第129号議案、神河町峰山高原スキー場設備整備工事請負契約締結事項の変更の件の提案理由について申し上げます。

資料の工事変更概要書をごらんください。金額については、917万6,760円の増額となっています。変更内容は、送水ポンプの仕様変更で132キロワットから160キロワットに変更。ポンプの性能、それからポンプの性能を上げることにより給電、ポンプ室内の分電盤から制御盤までの配線。それから、制御機器、モータースイッチのオン、オフの操作を行う機器。動力線、ポンプ室のモーターと分電盤をつなぐ配線。それ

から分電盤、ブレーカー機能を持つ盤と、先ほど言いましたB・Cの分岐管の追加の変更が伴います。

それから、送水する水をAコースからBコースに切りかえるために切りかえバルブ2カ所、ドレンバルブ3カ所、エアーVENTバルブ2カ所を追加します。そして、そのポンプ能力の変更は当初Aコースのみに、この「人口」の「口(こう)」の「口」っていう文字も工事の「工」に訂正願います。人工降雪機を設置する予定でしたが、峰山高原スキー場の安定した経営を図るためにB・Cコースにも対応可能な送水ポンプに変更するものです。そのためには、AコースよりB・Cコースの標高のほうが54メートル高く、揚程が上がることによりポンプ能力のアップが必要となったものです。

資料として、工事変更概要書の次のページには、クーリングタワー、送水ポンプの図面をつけております。特徴的なのは、日本製の場合、ポンプ小屋等の建物をつくりその中に設備を配置するのが通例ですが、このたびの工事に予定しているデマックレンコ社製のはポンプ、モーター、制御盤をユニットハウス内に入れることによりコンパクトになっているので、日本製よりもコストが安くなります。

その次のページについては、整備のイメージ図。全体の池があって、それからクーリングタワーがありまして、その下にポンプ室があると、そういう図面をつけています。

その次のページにつきましては、人工降雪機用のポンプのイメージ写真を添付しております。スキー場に特化した送水ポンプであり、水圧50キロまでの送水が可能となっています。以上が、峰山高原スキー場工事請負契約変更についての詳細説明です。

それから、昨日委員会を開いていただいた中で質問があった主な部分について、昨日調書を作成いたしております。平成28年12月20日の峰山高原スキー場整備調査特別委員会において出された質問について、まずポンプ変更に伴う単価アップについてということでございます。

昨日の段階での設計業者の確認の結果についてなんですけれども、当初の132キロワットポンプの設計単価は286万円で、160キロワットのポンプに変更すると400万円アップすると。計686万になり、価格についてはポンプの本体価格ですということです。その価格の妥当性について検討した結果、当初設計仕様どおりのポンプで他社の入札時に提出いただいたポンプ価格は580万円、490万円、720万円となっています。したがって、見積もりを徴収した中でこのたびの変更に伴う160キロのポンプにすることによって、400万円アップの686万円というポンプの単価は決して高いものでないと判断いたします。

それから、日本製と外国製の比較についてということなんですけれども、この件について相当、昨夜、工法調査とかそれから業者ヒアリング等々行ったんですけれども、人工降雪機のポンプ、配管等の日本製、外国製の比較について設計業者に比較表を作成依頼中ですが、現在はまだでき上がっておりません。ただ、設計は峰山高原の気象条件において人工降雪が可能な仕様を検討し、実績のあるメーカー見積もりを徴収し設計して

おります。送水管についても、耐久性の高いダクタイトル鋳鉄管のロック式といたしまして、近年他のスキー場で起こっている漏水事故等が極めて少ないタイプを選定しております。

また、下の表につきましては、ダクタイトル鋳鉄管単価比較でございます。まず、種別が国産と外国産になっておりまして、製品単価が7,325円と5,000円でございます。運送費については、1,726円。これはヨーロッパから日本への全てを含んだ輸送費でございます。国産の場合は100φの内面エポキシ粉体塗装、それから外面塗装なしで、国内の外面塗装をした製品は生産されていないということです。

それから、下の部分の100φ内面エポキシ樹脂コーティング、外面亜鉛溶射、この「溶射」という字なんですけど、それも訂正願います。さんずいの「溶」です。それから射撃の「射」という字を使います。外面亜鉛溶射、プラス、エポキシ樹脂コーティング、プラス、ポリウレタンコーティングという素材というふうにお聞きしました。

それから、見積書の確認ですけども、当初設計の見積書の単価比較表比較については、確認いたしております。

それから、まとめということでございます。このたびのJFEプラントエイジ、ここについても御訂正、済みません、何度も、訂正お願いいたします。プラントエンジでございます。このたびのJFEプラントエンジン株式会社の応札に伴う人工降雪機を中心とした機器の選定は、過去の実績、取引からイタリアのデマックレンコ社製をそれぞれの機器の性能とトータルとしてのシステムや互換性から採用しています。基本は応札者と落札するための金額として、低価格の優位性を発揮するのは当然であります。その他の比較点として、次のことを確認いたしました。デマックレンコ社製は制御機器、ポンプ、人工降雪機で、配管はイタリア製の他社の製品です。

人工降雪機は、噴き出しの先のノズルに特徴があり、気温はマイナス2度で雪をつくることができますが、日本製はマイナス3度での造雪となります。ポンプは日本製もデマックレンコ社製も受注生産ですが、日本製は人工降雪機用のポンプではなく、受注によりそれに合う能力のポンプを製造することになり大手メーカーのみ対応で、デマックレンコ社製よりも高いと言われております。デマックレンコ社製は受注生産ですが、人工降雪機用のポンプであり、ポンプ、モーター、制御盤をユニットハウスに収納することができ、コンパクトになります。日本製は、建物の中に収納し、大型設備となり、経費が高くなると言われております。

配管は、イタリア製はダクタイトル鋳鉄管で、管の内と外ともコーティングが施してありさびることはありません。また、ジョイント部分はカップリングジョイントとなっており、フランジ仕様による日本製のものより漏水の危険は少なくなります。ダクタイトル鋳鉄管の耐用年数は50年以上と言われております。日本製の配管は、通常の鋳鉄管でジョイント部は、カップリングジョイントではなく、フランジを溶接しボルト締めとしており、人工降雪機を使用しない4月から11月の水抜きを行った期間がありますので、

経年によりさびたり、それにより溶接部から漏水が発生し、維持管理に苦勞があります。鑄鉄管の耐用年数は20年程度とされています。日本製はダクティル鑄鉄で配管は行っていない、またジョイント部も溶接しボルト締め施工しかないと聞いています。

制御機器は当然のことながら、採用する全ての機器との互換性が必要ですので、トータルとして機器の選定の信頼性が必要ですので、これらの機器を組み合わせにより完成させたシステムとして取引をしているため、一部の機器を他のメーカーのものに入れかえるという考え方は適当でないというふうに考えています。

以上、少し長くなりましたが、提案の理由といたします。よろしく御審議のほどお願いいたします。

○議長（安部 重助君） 提案説明が終わりました。

本議案に対する質疑に入ります。質疑のある方どうぞ。質疑ございませんか。

小寺議員。

○議員（7番 小寺 俊輔君） 7番、小寺です。済みません、きのうの特別委員会でお聞きしておけばよかったんですけども、1点教えていただきたいのが、160キロにかえて50キロの送水圧ということなんで、その132キロのときは送水圧は何キロで想定されていました。

○議長（安部 重助君） 地域振興課観光振興特命参事。

○地域振興課参事兼観光振興特命参事（山下 和久君） 送水するときは20気圧というふうに聞いています。

○議長（安部 重助君） ほかにございますか。

藤原資広議員。

○議員（5番 藤原 資広君） 5番、藤原です。そうしたら1点だけ、お伺いいたします。

きのうの説明会では、入札設計書につきましては、国産、外国産関係なしにこの資料を見ますとモーターだけの見積もりをとられてされてると思うんですけども、変更されてる分につきましては、今の機械はユニットのタイプなんで、多分値段違うと思うんですけども、この価格ですけども、当然入札設計書と同じやり方で、多分価格出されてるのかなと思うんですけども、この価格につきましては、ひょっとしてこのイタリア製の価格を計上されているのか。ちょっと、そこら辺だけお伺いしたいんですけども。

○議長（安部 重助君） 地域振興課観光振興特命参事。

○地域振興課参事兼観光振興特命参事（山下 和久君） 今回もユニットハウス式のモーターですので、そのモーターの変更部分にかえて、その変更部分は同じ製品のもの見積もりと。要は、50馬力、例えが悪いかもしれませんが、50馬力のポンプを60馬力というふうな格好の力のアップなので、同じモーターの仕様だというふうに考えております。

○議長（安部 重助君） 藤原資広議員。

- 議員（5番 藤原 資広君） 5番、藤原です。そしたら、当初からこのユニットタイプの、いわゆるこういうイタリア製に似たようなものやったんですか。
- 議長（安部 重助君） 地域振興課観光振興特命参事。
- 地域振興課参事兼観光振興特命参事（山下 和久君） 当初設計においては、今回のその人工降雪機をするための仕様と能力だけの、要はその見積もりを依頼するという格好なので、業者さんによっては違うタイプのやり方も提案されているということでございます。
- 議長（安部 重助君） ほかにございますか。
藤原日順議員。
- 議員（2番 藤原 日順君） 2番、藤原でございます。きょういただきました資料、提案理由の2ページなんですけども、ポンプの変更に伴う単価アップということで、当初132キロワットで286万円だと。それを160キロにすることによって400万円アップしたということで。あと、ほかのところのポンプ価格、次の行ですね。当初設計の仕様書どおりのポンプで他社の分ということで、580万、490万、720万っていう数字が出てきてますけども、これは当初っていうことになるとうと132キロワットで580万、490万、720万ということで、280万とこれだけの差があったということなんですか。
- 議長（安部 重助君） 地域振興課観光振興特命参事。
- 地域振興課参事兼観光振興特命参事（山下 和久君） 昨日調べた結果、その理由について、いろいろと検証させていただいたんですけれども、今おっしゃるとおり、当初の設計の規格のものについて、その132のポンプのときにでも、要は580万、490万、720万となっていたということでございます。
- 議長（安部 重助君） ほかにございますか。
藤森議員。
- 議員（6番 藤森 正晴君） 6番、藤森です。日本製については、ポンプ小屋等の建物が必要ということなんですけども、今回の分においては、その必要がないユニットハウス内に入れることにより、コンパクトで経費が安く上がるということなんですけども。後において、やはりこういう建物内に入れなければいけないということはあるんですか、ないんですか、どうですか。
- 議長（安部 重助君） 地域振興課観光振興特命参事。
- 地域振興課参事兼観光振興特命参事（山下 和久君） その経年変化でどうなるかということだと思います。その分について確認はとれてませんが、基本的にヨーロッパ仕様でございまして、その頑丈なユニットものなので、将来それに、例えば想定される家屋みたいな、屋根とかそういうものをつけることを言われてるんかと思いますが、そういうことはないということでございます。
- 議長（安部 重助君） ほかにございますか。

松山議員。

○議員（8番 松山 陽子君） 8番、松山です。私はポンプ自体のことではないんですけども、この提案されるに関連してちょっとお聞きしたいんですが、今回そのバージョンアップするに当たっては、B・Cコースを降雪機を使うという前提で、この機械のバージョンアップという予算になったかと思うんですが、そのB・Cコースをもう降雪機を使うというふうに方向をそういうふうに決められたのは、いつの段階なんですか。

それと、もう一つは、このJFEですか、その会社との契約期間は9月、ことしの9月の28日から来年の3月31日までの工事期間ということになってるんですけども、このポンプを発注するのがきょうかあしたが期限だと言われてますけど、それから発注して6カ月。それから輸送期間も含めてということになると、やっぱり来年度という形になりますね、工事取り付け。その契約の期間をオーバーすることについて、何かまたここでお金なり、金額なりそういった発生はしないんでしょうか。そういうことをお聞きしたいと思います。

○議長（安部 重助君） 地域振興課観光振興特命参事。

○地域振興課参事兼観光振興特命参事（山下 和久君） ちょっと記憶は定かではないんですけども、当初はAコースのみという格好で、一番当初はガンタイプの分で比較的安いんですけども、全コースにということで始まりました。その後、実施設計等々やる中で、それではなくもっと機能のいいものということでファンタイプとガンタイプの格好になりました。そうしまして、その後、すごい暖冬ありまして小寺議員さんからも、将来対応としてそのB・Cコースにも人工降雪機を絶対やっという方がいいだろうというふうな御意見もいただきました。その中で、いろいろ協議をしていった中で、その予算の範囲内でできることはやっておきたいという格好で、こういうことが発生いたしました。

多分、委員会のほうでいつ時点で言うたかといいますのは、ちょっと記録を調べなければわかりませんが、この部分については、ずっと皆様にお願ひしてきた経過というふうに考えています。

あと……（発言する者あり）おっしゃるとおり、工期内には納まりません。そういうことで繰り越しの手続をしなければならないというふうに考えています。

○議長（安部 重助君） 松山議員。

○議員（8番 松山 陽子君） 契約については、繰り越しということで。そしたら、新たな経費とかの発生はないのかいうことを一つ。

それから、いつの時期かはっきりしないけれども、小寺議員の発言によりそういう方向も、あれのほうの方が妥当かないうて言われたんですが、小寺議員が質問された段階では、それに対してのちゃんとした答弁はなかったかと思います。ただ、その予算が余って、予算の範囲内であるからということで、方向を変えられるとするなら、やはり皆さんに

はB・Cコースもありだよというのをお知らせしてるイコール皆さんが承認されたというふうに考えておられるんであると、ちょっと皆さん納得されないんじゃないかなというふうに思いますけれども。

○議長（安部 重助君） 山名町長。

○町長（山名 宗悟君） 私、特別委員会の報告を受けているわけですが、この間、特別委員会の開催された日というのは、11月18日、そして11月30日。この2回について審議もいただいているところでございます。18日の特別委員会におきましても、私どものほうからB・Cコースへの人工降雪機のポンプあるいは配管の件も御提示させていただいたところでございますが、18日については、その件については審議をせずに、そして続く11月30日の特別委員会において、B・Cコース、私どものほうからはB・Cコースにも人工降雪機を使っての造雪をしたいという、そのためには現在設計で計上しています132キロワットのポンプを160キロワットにする必要があると。そして、予算については、現在この入札によるこの減。減額、いわゆる入札差金があるので、その予算を有効に活用をすることでその工事が可能になってくるという審議をお願いしたということでもあります。

その中でいろいろな御意見もいただきながら、そうすることがこのスキー場の運営についてより安定的になるし、多くの方々に喜んでいただく、顧客満足度を高めるというふうな観点から、いずれにしても工事変更契約をしなければいけないという部分について、特別委員会でも議論していただいて、その方向で決まったというふうに私は報告聞いておりますので。そう考えますと、B・Cコースの配管はこれは28年度ということではなしに、29年度にも考えていきたいという話はさせていただいたというふうに私確認っておりますので、それができない中で、このポンプの増設ということはあり得ないと、私は考えておりますので、特別委員会の中で了承を得たということを根拠に、このたびの提案をさせていただいております。以上です。

○議長（安部 重助君） ほかにございますか。

三谷議員。

○議員（9番 三谷 克巳君） 9番、三谷です。先ほどの松山議員さんの質問とも関連するんですが、B・Cコースに人工降雪機、配管をしようとする分ですね。その時期というよりも、その動機ですね。町長の説明で全て網羅された、言われてましたが、一番根本になった部分の質問じゃなかったと思いますんで、そのB・Cコースに配管をしようとして思ったときが、一つは議員から提案が、意見があったからという部分と、それからもう一つは予算で余裕ができたという考え方と、やっぱりB・Cコースをね、スキー場全体を安定的な経営をするためにB・Cコースも人工降雪機が必要だという、この3つの判断基準があったんですが、どれが主であったかという分の、再度の確認だと思います。

それから、もう一点は、これはこれまでの委員会の中でも言われてますように、工事

については辺地債の配分の範囲内でやってこられますという話がありました。このたび、当初28年度予定しておりました辺地債の配分6億円がつい最近、5億6,120万ですか、に下がりましたんで、今回のこの約958万の変更分も当然その辺地債の中に含んでおると思うんですが。あと今後、これ以外に設備工事、それから造成工事、調整池の工事ですね。これらも含めて、当然現場でいろいろ工事を進めている中で変更が出てくるとは思いますが、そういう部分も見込んで28年度は、28年度の辺地債の配分額5億6,120万円の中で必ず工事が施行できるということで見込んでおられるかどうか。その2点をお尋ねしたいと思います。

○議長（安部 重助君） 山名町長。

○町長（山名 宗悟君） 私ども執行部といたしましては、三谷議員がおっしゃられるとおり、いずれにしてもこの配分された予算の範囲内でこの事業を執行していくということでございます。

○議長（安部 重助君） 総務課長。

○総務課長（日和 哲朗君） 総務課、日和でございます。先ほどの三谷議員の御質問2点につきまして、町長のほうから一括して答弁をさせていただきましたけれども、まずB・Cコース配管を決定した動機というところでございます。

まずは、8億4,000万円で全てを完成させるというところから出発をいたしました。詳細の設計を進めていくうちに、その事業費の中では対応できないということで、議会の中では2億2,000万円の増額となるという御報告もさせていただいたところであります。

その後、工事内容、環境審議会の意見等々も含めまして、変更箇所が3点ばかりあったというところを踏まえまして、このB・Cコース配管の部分につきましても、当初は全て行うというところから、予算の都合上それを外すという方向になってまいりました。そして、このたびは入札状況等も踏まえまして、その入札差金等を利用することによってB・Cコースの配管工事が29年度予算の中で対応が可能であるという方向を示した上で、11月18日、11月30日の特別委員会の中で御審議をいただきまして、B・Cコースの配管を前提としたポンプの能力アップの変更の内容につきまして御了解をいただいていたというところでございます。

そういったことも含めて考えますと、動機が議員からの提案なのか、予算上のことなのか、安定的な経営なのかという3つの部分をおっしゃっていただいたんですけれども、これら全てを含めてということで御理解はいただきたいというふうに思います。

それから、28年度の辺地債につきましては、5億6,000万円ということでございまして、この5億6,000万円の中でこれまで提案してまいりました全ての工事ですね、対応ができるということでございますので、よろしく願いいたします。

○議長（安部 重助君） ほかございますか。

副町長。

○副町長（細岡 重義君） 細岡でございます。辺地債の件でございます。県との話の中で、国はスキー場に5.9億円、ほぼ満額をつけたというように言っていただいております。その5.9億円の中で、うちの配分として道路とスキー場に分けた場合、スキー場に5.6億ということでございます。今、課長が言いましたように、その5億6,000万円で工事については対応をしているということでございます。

総務省の通知のように8.4億円という内容が来ておりまして、それについて、あと2.4億円については次年度で配分していただけるものというように確認して、県とはお話をしているところでございます。

○議長（安部 重助君） 藤原日順議員。

○議員（2番 藤原 日順君） 今、副町長のほうからも説明ございましたけども、ことしにつきましては、配分率が94%ということで、6%カットされるということでございますね。

来年度2億4,000万ということで、6億プラス2億4,000万の8億4,000万ということなんですけども。やはり、こういった熊本地震であるとか鳥取地震等の影響でやっぱりカットっていう可能性が非常に高いんじゃないかなと。同じように6%カットされるとなると1,440万、1,500万弱カットされるということを前提に、やっぱり物を考えていかないといけないと。その場合に、この1,440万減ってもこのスキー場のあとの工事等が十分可能なかどうか。その辺の見通しを教えてくださいたいと思います。

○議長（安部 重助君） 少し提案から外れかけておりますので、そこら辺をしっかりともとに戻す答弁をしてください。

山名町長。

○町長（山名 宗悟君） 藤原日順議員の御質問にお答えしたいと思います。

私どもはどういう形になろうが、最終的には配分される資金でもって対応していかねばいけない。しかしながら、それが足りないという段階においては、これまでの特別委員会でも申し上げておりますように、この指定管理者側からの施設利用料という形の中で対応をしていくという話をさせていただいております。

それと兵庫県市町振興課ともこの配分について、来年度も含めてどういう工事の発注をするかというところは十分な協議をさせていただきながら、慎重に対応をしていかねばいけないというふうに考えております。以上です。

○議長（安部 重助君） 副町長。

○副町長（細岡 重義君） 細岡でございます。29年度、2.4億円につきましては、スキー場のお願いということでございますが、道路については、それプラス幾らということに計画しておりまして、今ここにちょっとその金額持ち合わせていませんのでわかりませんが、道路とこの2.4億円を、今度国のほうに申請いたしますので、その何%かはカットになる可能性はあるかもしれません。そういう状況で申請いたします。

○議長（安部 重助君） ほかに質疑ございますか。

松山議員。

○議員（8番 松山 陽子君） 8番、松山です。小寺議員が、B・Cコースも人工降雪機を使ってするほうが、より魅力的なものになるのではないかなというふうに提案されたのは、ここ最近の話ではないかと思います。その判断をいつされたかということ、もう一つはっきりは聞けなかったんですけども、ただポンプを発注するということについては、もっと前から、最初から発注するに当たって何日間かかるとか、輸送にどれだけかかるかっていうのは想定できたかと思います。それが、その機種がバージョンアップするかしないかの、今の判断をどこでされるべきだったかということもあるんですけども、この業者と契約する29年の3月31日というのを逆算すると、もっと早くに発注しておかないといけなかったのではないかなというふうに思うんですね。それよりも、それをバージョンアップするに当たって、今まで引っ張ってこられた理由っていうんですか。今になって、もう期限がないからというふうに提案される。そして、その上に工期が延びるといふようなことの、何かどういうんか、流れるなことが私はまだちょっと頭の整理がつかないんですけども、それについて、説明をお願いしたいと思います。

○議長（安部 重助君） 総務課長。

○総務課長（日和 哲朗君） 総務課、日和でございます。28年度の辺地事業債の第1次配分につきましては、現在、日を調べておりますが、28年9月だったと思います。それを想定をしまして、28年度分の工事を進めていきたいということで、議会の中でお話をさせていただきました。

その際に出ておりましたのは、1次配分の中では、道路分含めてですが、全体で4.5億円の内示をいただいております。その際に、28年度で予算計上いたしております6億円分、全て事業を進めてよいのかという御質問をいただいた際に、私記憶があるんですけども、6億円が見込まれるという前提で事業を進めないと、29年12月のオープンには間に合わないということで御説明をさせていただきました。いわゆる、予算がつくと、確保されるということを想定して事業着手をさせていただきたい。その場合に、予算不足が生じた部分につきましては、当然収益還元でというようなお話をさせていただいたと思っております。

ですから、先ほどの御質問に対するお答えといたしましては、本年度の峰山高原スキー場整備に係る全ての事業につきまして、本年9月から進めていると。工事部分についてはそのように理解をいたしております。なお、調査部分等につきましては、4月当初でこれも先行して着手をさせていただくということで、御報告をさせていただき進めておるところでございます。以上です。

○議長（安部 重助君） ほかございますか。ほか特にございませんか。

〔質疑なし〕

○議長（安部 重助君） ないようでしたら、質疑を終結しますがよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安部 重助君） ここで質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

〔討論なし〕

○議長（安部 重助君） 討論がないようでございますので、討論を終結します。

第129号議案を採決します。本案については、原案のとおり可決することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（安部 重助君） 起立多数であります。よって、第129号議案は、原案のとおり可決しました。

○議長（安部 重助君） 以上で本日の日程は全て終了しました。

お諮りします。今臨時会に付議された案件は全て議了しました。これで閉会したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安部 重助君） 御異議ないものと認めます。

これをもちまして第75回神河町議会臨時会を閉会します。

午前9時43分閉会

議長挨拶

○議長（安部 重助君） 閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

ただいま129号議案が可決されまして、これからスキー場についての工事につきましては、納期、期限を守っていただくとともに、正確な、これからトラブルのないような工事発注また工事の進捗というものをしっかりと見きわめていただきまして、すばらしいスキー場ができることを皆様とともにこれから応援していかなければいけないんだというふうに思いますので、どうぞ御協力のほどをよろしくお願いいたしまして、閉会の挨拶といたします。

町長挨拶

○町長（山名 宗悟君） それでは、第75回神河町議会臨時会の閉会に当たり、お礼の挨拶をさせていただきます。

本日提案させていただきました第129号議案、神河町峰山高原スキー場設備整備工事請負契約締結事項変更の件につきまして、議員各位には慎重審議賜り、御承認、可決いただき、まことにありがとうございました。

峰山高原スキー場は全国で18年ぶりとなる新たに整備するスキー場であり、ウイン

タースポーツ業界からも大変注目されているスキー場であるというふうに認識しております。そのためにも来場者の満足度を高め、経営の安定を図ることによって、それがひいては神河町での新たな雇用の創出と経済循環の拡大、すなわち神河町の地域創生につながるものと確信をしております。議員の皆様からいただきました全ての御意見を含め、改めて神河町の将来像、「ハートがふれあう住民自治のまち」実現に向かって取り組んでいく決意でございます。

最後になりましたが、議員各位には健康管理十分にさせていただきますとともに、引き続き町政運営に御支援、御指導を賜りますようお願いを申し上げまして、閉会に当たりましてのお礼の挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

午前 9 時 4 6 分
